



## 第18回 春日部コミュニティ夏まつり ～ 当会運営支援 ～



「ゴミ集積所の管理」、開催の前の静けさ



「トイレと手洗いの水管理」

暑い日差しの中、「春日部コミュニティ夏まつり」運営の支援のため、8/26に当会から（男性8名 女性6名）が参加いたしました。作り立てのオレンジユニホームと帽子で、さっそうと14時に集合しました。男性はゴミ集積の管理とトイレ・手洗いの水管理、女性はトイレ全般の管理と利用者への案内でした。皆さん、慣れている事は手際よくやっていたのですが、突然のアクシデント（トイレのつまりなど）には慌てたりもしました。

時間が経つにつれ、たくさんの方が集まり家族づれや友達同士で、模擬店での買い物や踊り、神輿を楽しんでいる姿は、「まつり」が戻ってきたのかなと思いました。公園広場の大勢の人の中、時おりオレンジユニホームの人が仕事をしているのを見つけると、嬉しくなりました。トイレに並ぶ人から、「大変ですね」「ご苦労様です」と声をかけていただいたり、可愛い迷子ちゃんの手をしっかりと繋いで本部への道は、今日の参加の意味をしみじみと感じました。

会場で、たくさんの人と見た花火は心豊かになり、会員の皆さんと最後のお掃除もしっかり出来て、無事に予定通り担当の仕事が終わりホッとしながら帰りました。



「会場の様子」



「花火」

## 会長就任のご挨拶

会長 有井 正雄

5月の定期総会で会長に就任しました。小さなボランティア活動から始まり18年目に入りました。NPO 法人の活動スタイルになって8年目です。立ち上げのボランティア活動から参加した会員がいまだ現役でやっております。また、毎年新しい会員が参加していることは本会の誇りであり、息長く続く地域社会への貢献をしている活動の姿とも言えます。

先輩諸氏が築いてきたボランティア活動を会員の皆様とともに地域社会への貢献と会員の皆様の健康を大事して一歩一歩前へと進めていきたいと考えます。ご協力をよろしくお願い致します。

## クビアカツヤカミキリ発生

当会が管理している桜並木の12本に、最悪枯れることになる外来害虫「クビアカツヤカミキリ」による被害が7/16に確認されました。このため、当会ではクビアカツヤカミキリの被害防止と注意喚起を行っている埼玉県環境科学センターと春日部市公園緑地課に連絡を行い、8/9に対策が実施されました。春日部市内では初めて被害が確認されたとのことで、これ以上被害拡大とならないことが願われます。



クビアカツヤカミキリ雄の成虫  
体長 20~45mm程度



フラス  
幼虫の食害



防虫ネット対策状況  
成虫の拡散防止

引用：埼玉県環境科学国際センター



## 周辺施設のご紹介 埼玉みずほ農業協同組合 庄和中央支店

所在地は、上金崎で私達の活動拠点「庄和道の駅さくら公園」から見える所です。設立は平成5年4月、幸手・杉戸・栗橋・鷲宮・埼玉庄和の5JAにより県内初の広域合併JAとして誕生し約30年になり、本店は幸手にあります。

農業協同組合法により、信用・共済事業（金融・保険・ローン）を中心に「地域の皆様のための身近で便利で安心な」組織になることを目指しています。組合ですので出資金制度で運営しており、出資金は元本保証で配当があり、正組合員・準組合員・員外で構成されています。正規組合員は、耕作面積150坪以上の土地で耕作をしている事が、条件になっています。

組合内での農業耕作地が、後継者不足や春日部イオンモール及び周辺の商業施設、流通倉庫の進出などにより大幅に減少しています。員外者の主な利用は、年金受給や給食費の引き落とし及び自動車共済等です。昨年の雹被害の時は、保険適用で多くの方に感謝されました。南部経済センターの協力で食料品等の販売もしております。その中でもナス漬の素が、お勧めです。

年金友の会（年金受給者向け）では以下の行事を開催し、多数の参加をお持ちしますとの事です。

- ・9月 グランドゴルフ大会 予選は龍Q館グランドにて開催200名位参加
- ・1月 いちご狩り
- ・3月 一泊旅行

温暖化（沸騰化）や世界各地での紛争及び世界人口増加等で食料不足が言われており、食料自給率の向上がこれからの重要課題になると思われますので、増々の御組合の活躍を期待いたします。



販売コーナー



## 話の種子 <第八話>

### なわしろ 「苗代(田植えまでのいね苗を育てるところ)」

ある文章の中で「苗代」の言葉がなぜか心に響いた。辞書を引くと「水稻の苗を仕立てる苗どこのこと。水田の一部を整えて、粃種（モミダネ・いねの種子）を蒔き、田植苗〔早苗（さなえ）〕まで育てるところ」と。当時、水稻作は国にも農家にも最も重要な作物であり、この苗の育成は春先に、最初に手がける極めて大事な農作業だったのです。この苗代で蒔く粃種は、昨秋美しく実った穂を選抜したもの。苗代の準備が整い蒔く時が決まると、粃種を塩水選（塩を溶いた水の比重を利用）で更に選別し、催芽を行う。白い小さな芽がのぞきはじめた粃種を、丁寧にならした苗床の土の上に厚くも薄くもないように心を集中して蒔く。一斉に芽立ちにホット一息。否、春先の気象変化に育つ苗状態をつり合わせる水温や湛水の調節が日常であった。ところが現代のいね苗育成は、気温条件も安定した納屋中で土の詰まった育成箱に機械播き。全システム化の現代稲作に対し、かつての苗代には人間の手技や勤があった。これが私の心を動かしたと思うのです。

最後に、水稻栽培において昔から最大の有害雑草タイヌビエ、田植時に見逃すと後の防除は大変です。同じイネ科でいねに酷似していますが、別図の如く、一目瞭然の異点があります。注意して水稻栽培田に絶対に持ち込まないよう注意しましょう。（小澤啓男）



## 会員の紹介

### 「庄和ふる里を守る会」に想う

会員 川口 雅澄

2021年12月に入会させて頂き、1年半が経過しました。入会のきっかけは桜並木のウォーキングです。体力作りと健康のために5～6か所のコースを設定しており、庄和の道の駅の裏の桜並木はそのうちの一つです。このコースは起点から終点まで3.14km、往復約6km、私の歩数で約9,000歩と自分に最適のコースです。春は満開の桜を眺めながら歩き、青い空に真っ白い雲が、桜の花びらを一層引き立たせてくれます。

夏は桜の葉が生い茂り、時には涼しい風が吹き、ホッとする一時もあります。秋は桜の紅葉と並木道の両側に広がる黄金色に染まった稲穂の絨毯に心癒されます。四季折々、季節の移り変わりを感じながらウォーキングを楽しんでいます。何よりも起点の「庄和道の駅さくら公園」が「庄和ふる里を守る会」の皆様により季節毎に花が植えられ、芝も手入れされて「今日も歩くぞ!」と後押ししてくれることです。散歩やウォーキングが好きなものにとっては、健康目的のみならず歩きたくなるような環境・雰囲気重要だと思います。

感謝の気持ちがあって、何かしらお手伝い出来ればと思い、声をかけさせて頂き、入会をお願いした次第です。微力ながら会の発展に貢献できればと思っています。

### ご支援を頂いている 団体賛助会員様

\* 受付登録順

庄和商工会

(株) 道の駅庄和

(株) 桐の樹環境

金崎区 (自治会)

(有) 庄和商事

関東いすゞ自動車(株) 春日部支店

庄和中央病院

埼玉みずほ農協 庄和中央支店

小笠原医院

上柳区 (自治会)

東武スポーツクラブみなみさくらい

○ 個人会員 (8月末 現在) 正会員 77名 賛助会員 94名

### 「NPO法人庄和ふる里を守る会」からの報告

- ① これまでの帽子に加えてTシャツ(当会のロゴ入り)を着用して、夏季活動を行っています。散歩等でお通り際にはお気をつけてお通りください。
- ② 春日部市市民活動センターぽぽら春日部のHPに当会会報を掲載することにいたしました。今後は、曼殊沙華や桜の開花状況の掲載など情報発信を行いますので、ご覧ください。( <https://kasukabe.genki365.net/> )



【編集／発行】

NPO法人庄和ふる里を守る会 「ふる里庄和」編集委員会  
〒344-0121 春日部市上柳183  
(TEL) 090-7903-3971